

大会宣言

少子高齢社会の到来や核家族化の進行、働き方などの生活様式の変化に伴い、私たちを取り巻く地域社会や家庭環境は大きく変容しています。また、住民同士のつながりの希薄化や経済社会の変化も相まって地域の相互扶助機能も急速に力を失い、さらには、孤立死やひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮など地域における生活課題は深刻化・多様化しています。

このような中、国においては子ども・障がい・介護等の各分野で制度の見直しが行われ、さまざまな施策が進められていますが、多様化するニーズに対応するためには、福祉サービスの縦割りを改善するとともに、制度の狭間にある問題にも果敢に取り組み、その解決の仕組みを創っていくことが求められています。

そのためには、地域住民をはじめボランティア、企業、関係団体、NPO、福祉施設、社会福祉協議会など地域社会のあらゆる構成員が社会福祉の担い手として連携・協働し、制度外のサービスや活動を積極的に展開するとともに、地域コミュニティの再生と共助の輪を広げていかなければなりません。

本日、第64回魚津市社会福祉大会を迎え、私たちは地域で支え合うことの大切さを今一度認識し、さまざまなニーズに対して真摯に向き合い、だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して過ごせる地域福祉のまちづくりの実現に向け努力することを誓い、ここに宣言します。

平成27年8月1日

第64回魚津市社会福祉大会